

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-4 障がい者の自立支援

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

障がい福祉課長 平岡 昇

電話番号

0852-22-6256

事務事業の名称	障がい者施設等整備事業	
目的	(1) 対象	障がい児・者施設設置者
	(2) 意図	障がい児・者が必要とするサービスを確保するための施設整備を促進する
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者福祉施設整備補助事業：障がい福祉サービスを提供する施設の整備をしようとする者に対し、その費用を補助する。 グループホーム整備事業：障がい者の生活の場であるグループホームを整備する事業者に対し、その費用を補助する。 障がい者施設耐震化等整備事業（基金事業）：入所施設耐震化やスプリンクラー整備に要する費用を補助する。 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	グループホーム等利用定員増加数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		16.00	73.00	95.00	61.00	
式・定義	ケアホーム・グループホームの整備により増加した利用定員数	実績値	73.00	126.00	39.00	13.00		人	
		達成率		787.50	53.40	13.70		%	
指標名	グループホーム等利用定員増加数	ケアホーム・グループホームの整備により増加した利用定員数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,408,050	932,536
うち一般財源(千円)	358,784	242,661

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・障がい者地域生活移行・支援のためには、グループホームの整備が引き続き重要な課題。
 （指標データ）
 ・平成26年度整備件数
 国県補助金 1カ所（うちGH0カ所）
 県単補助金 0カ所（うちGH0カ所）
 耐震化基金 39カ所（うちGH38カ所）
 →しらゆり会入所施設+スプリンクラー38カ所
 ※H27.4.1時点GH定員1,327人（前年同期1,314人）
 → +13人

6. 成果があったこと（改善されたこと）

国県補助や県単補助、基金補助を活用し、グループホームや日中系施設の整備が進んだ。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・国の通常ベース予算が平成24年度以降減額が続いており、ニーズに応じた整備に支障をきたしている。

②困っている状況が発生している「原因」

・国の財政逼迫

③原因を解消するための「課題」

・国の予算確保
 ・限られた予算の最適な配分

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・第4期障がい福祉計画の目標に従って、地域移行の推進を図るため、圏域の整備状況等を把握しながら着実にグループホーム・日中系事業所の整備を促進する。
 ・県内の施設整備のニーズは高く、国の補助金配分率を上回る状況である。所要額の確保に向けて国に働きかけていくとともに、県予算の確保に努める。
 ・限られた予算を最適に配分するため、施設の整備優先度を明確にし、着実に整備を行っていく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）